

世界史 大阪大学 外国語学部 (前期) 1/4

(I)

問	イギリス領北米植民地では黒人奴隷を用いてタバコなどのプランテーションが広がり、アメリカ合衆国独立後も南部綿花地帯で奴隷労働力が利用された。領土の拡大に伴い奴隷制に依存する南部とそれに反対する北部との間で対立が深まり、奴隷制を批判する共和党のリンカンが大統領になると、南部諸州が連邦から離脱し、南北戦争となった。戦争中リンカンは奴隷解放宣言を発し、戦後憲法修正第 13 条で奴隷制は廃止されたが、解放奴隷はシェアカロップパーとして冷遇され、人種隔離が続いた州もあった。第二次世界大戦後、キング牧師らの指導で公民権運動が展開され、ジョンソン政権下で成立した人種差別を禁じる公民権法で黒人の地位向上が図られたが、差別は完全には解消されなかった。(315 字)

世界史 大阪大学 外国語学部 (前期) 2/4

(II)

問1	当時オランダとの交易を行っていた日本で、江戸幕府がキリスト教を全面的に禁止し、鎖国政策が強化されると、キリスト教徒の日系人女性らは日本を離れてオランダのアジア貿易の拠点であるジャワ島のバタヴィアなどに移住した。(105字)

問2	オランダ東インド会社は、各地に商館を建設して拠点とし、アンボイナ事件を機にイギリスをモルッカ諸島から排除し、ポルトガルからマラッカやスリランカを奪って香辛料貿易を独占的に支配した。また台湾を領有する一方、鎖国する日本ともヨーロッパ諸国の中で唯一交易を維持し、中国産の絹や生糸を日本産の銀と交換して大きな利益を得た。(157字)

問3	エ
----	---

問4	ウ
----	---

世界史 大阪大学 外国語学部 (前期) 3/4

(Ⅲ)

問 1	日英通商航海条約 領事裁判権の撤廃, 関税率の引き上げ, 相互対等の最恵国待遇
-----	---

問 2	イラン立憲革命 (青年トルコ革命 ドンズー運動 インド国民会議カルカッタ大会 中国同盟会結成)
-----	---

問 3	第一世界大戦後, 14カ条に基づく民族自決の原則はアジア地域に適用されず, これに反
	発して民族運動が激化した。インドでは, 約束されていた自治が実現しなかったことに対しサティ
	ヤーグラハ運動が起こった。朝鮮では日本の支配に対抗して三・一独立運動が起こり, 中国ではパ
	リ講和会議で二十一カ条要求の撤廃が承認されなかったため, これに反発して五・四運動が起こっ
	た。日本は三・一独立運動を弾圧し, 北京の軍閥政権を支援するなど帝国主義政策を進めた。(213
	字)

世界史 大阪大学 外国語学部 (前期) 4/4

(Ⅲ)

問 4	中華人民共和国建国後，1950 年に中ソ友好同盟相互援助条約が結ばれ，ソ連は中国の第一次五カ年計画を支援するなど，両国は協調して資本主義陣営と対峙した。しかし 1956 年にフルシチョフがスターリン批判を行い平和共存路線に転じると両国関係は悪化し，ソ連は中国との技術協定を破棄し，1960 年代末には国境紛争が勃発した。1980 年代にゴルバチョフが新思考外交を開始して関係改善の気運が高まると，1989 年のゴルバチョフ訪中で関係正常化が実現した。(204 字)